

有森裕子資料館「アニモ・ミュージアム」が完成しました

ハート・オブ・ゴールド



通信

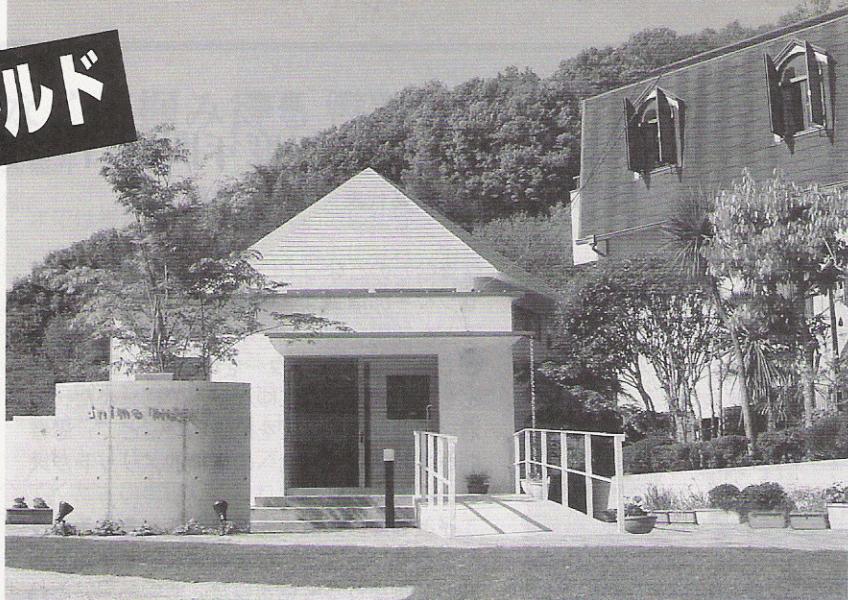
HEARTS
OF GOLD

vol. 9

2003年7月1日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市西辛川872-2
T&F 086-284-9700
メール:hearts05@hofg.org

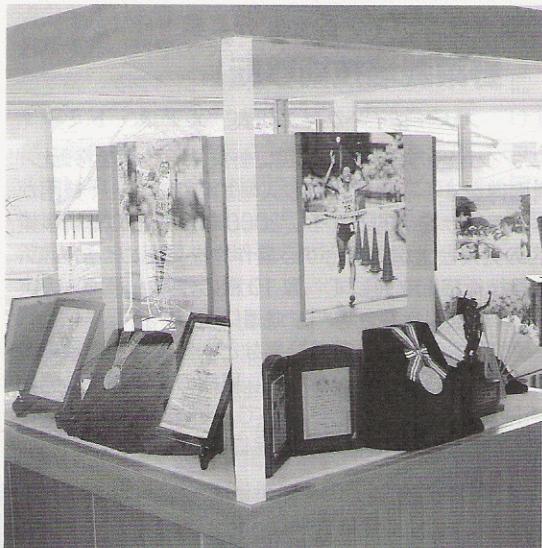
URL : <http://www.hofg.org/>



5月17日(土)に、大勢の関係者の出席を得て、華やかに開館式を行い、5月20日から一般公開しています。ミュージアムは、有森裕子選手のオリンピックでの活躍を中心に、今までに獲得したり使用した資料を展示・公開しています。

有森裕子選手の活躍の軌跡を示す品々を一般に公開することにより、より多くの人々にスポーツに対する关心を高めるとともに、スポーツの感動を伝えること、そして次の世代を担う小・中・高校生に、スポーツの楽しさ、素晴らしさを通して、目標に向かって一生懸命努力することの大切さ・貴重さを感じてもらい、自らの目標を得て努力出来るきっかけになることを目的に設立されました。そうした思いを込めた館の名前が「アニモ・ミュージアム」です。「アニモ」はスペイン語で「勇気」「魂」「気力」という意味の言葉で、「頑張れ!」という声援にも使われ、バルセロナ・オリンピックの時、沿道からさかんに呼ばれた言葉です。有森選手には、この言葉が自分のニックネーム「アリモ」と聞こえ、自分を応援していると思い、最後まで頑張ることが出来たと言います。そうしたことから、「アニモ」という言葉は、有森選手にとって特別忘れ得ない言葉となりました。展示は、限られたスペースに有森選手の言葉で、その時々の思いや背景をコメント形式で説明しています。展示物は、メダル関係を中央の展示ケースにまとめ、周囲に各大会の写真やオリンピックで使用したユニホームや靴(複製品)・ゼッケン・帽子など約70点を展示しています。

アニモ・ミュージアムの開館時間は、午後10時から午後5時まで。休館日は毎週月曜日と第一・第二日曜日、それに祝日です。詳細はホームページをご覧下さい。
住所は岡山市原1196-1 電話番号は(086)228-1666



新役員紹介

2003年は理事改選の年です。

6月14日の総会にて以下の方がたが理事に承認されました。今後2年間宜しくお願ひいたします。

有森裕子(代表)
ローレン・モラー(副代表)
萩原 隆(理事長)
香取 文隆(副理事長)
君原 健二(理事)
高石ともや(理事)
中島 博(理事)
田中 浩一(理事)
片山 浩子(理事)
長谷川 駿(理事)
市川 捷治(監事)

なお、緒方由美子様、松村政子様、本田佳子様は今回を持って退任されました。長い間本当にご苦労様でした。

第3回青少年スポーツ大会 アンコールワットウォーキング大会 第8回アンコールワット国際ハーフマラソン

■アンコールワット国際ハーフマラソン

日程: 2003年11月30日(日)
場所: アンコールワット遺跡内
内容: ハーフマラソン・10キロ・5キロ
ファミリー・障害者

■アンコールワット・ウォーキング大会

日程: 2003年11月29日(土)
場所: アンコールワット遺跡内

*問い合わせ先: マラソン実行委員会事務局
tel: 03-3269-0429 (グリーンベル内)

■青少年スポーツ大会 2003

日程: 2003年12月1日~2日
場所: プノンペン・オリンピックスタジアム
内容: 青少年スポーツ大会
(サッカー・バスケット・バレーボール
レクリエーション・バトミントン・武道・
ペタンク・テニス他 交流イベント)
※同時開催予定: コーチング・クリニック
エイズ予防教育 (UNFPA協力)

*問い合わせ先: 〒701-1213 岡山市西辛川872-2
HOG事務局 Tel/Fax 086-284-9700

参加者とボランティアスタッフを募集しています。詳細は上記連絡先までお問い合わせください。

ハート・ペアレント（心の里親）事業 チャイルドケアーセンター 2002年度年間報告

るしな・こみゅにけーしょん・やぼねしあ代表 松本 清嗣

チャイルドケアセンターでは2002年度には新たに4名を受け入れ、計20名の子どもたちの養育を行いました。昨年度で定員にすでに達し、新規受け入れしない方針を立てていたものの、父親による深刻な家庭内暴力にさらされ、薬物吸引癖のある男の子を避難所（駆け込み寺）として受け入れる必要性が生じたことから4名を更に受け入れました。ハートオブゴールドのご支援により、新規受け入れ者の里親のご支援を頂くほか、すでに満杯の状態にあったセンターの増築のご支援も頂き、子どもたちのセンターでの暮らしは

快適なものとなっています。チャイルドケアセンターの増築は無事完了し、新たに2つの子ども部屋、炊事場、水浴び場、簡易トイレができました。センターを増築したことで、子ども達の居住空間にゆとりができ、また、水浴び場やトイレなどを設置することで、思春期を迎える子ども達への精神的メリットが大きいと考えられます。

子ども達の欠点を克服するとともにその長所を発見し伸ばすことを目標として生活や活動の計画を行ってきました。その結果、それぞれの子ども達が学校や農場あるいはセンターでの暮らしは

一での共同生活において、適切な役割を分担し協力できるようになってきており、これは社会に出る上でもっとも重要な要素と考えられます。この点、センターの子ども達はみな元気で礼儀正しく、共同生活における協調性なども備えて成長しており、活動は順調に実施された、と言ってよいと思われます。

自給自足や収入源としては十分ではありませんが、子ども達による野菜作り／米つくりは予想収量の80%というできでした。豚や家禽、魚の飼育も順調に進み、繁殖が進んでいます。

今年は、子どもたちの将来のために、職業訓練準備作業（職業訓練の予備調査等）が進められています。本年度も息の長い温かいご支援をお願いいたします。子ども達は、日本のお父さん、お母さんにとって感謝し、会いたがっています。

※ハート・ペアレントに関心がある方は、事務局までご連絡ください。資料をお送りいたします。

東ティモール独立1周年記念スポーツ祭

The first anniversary of East Timor Independence Festival of Sports in 2003 May

山口 拓



昨年2002年5月20日に独立を果たした東ティモール民主共和国は、アジアの最貧国として困窮した状況下、懸命に国家の再建に向けた歩みを始めています。そんな中、独立1周年イベントとして「平和な国家の獲得を再確認し、国家の発展に向けた民族の結束を高め、不安定な状況にある国際情勢の中で、数世紀に及んだ独立闘争の歴史を経験し、平和を獲得した国家として平和な世界の素晴らしさを世界に向けて発信する」ため、「独立1周年記念スポーツ祭」が開催されました。ハート・オブ・ゴールドは昨年同様、現地からの強い要請を受け、専門家を派遣しました。なお本年度は、国際オリンピック委員会(IOC)からの派遣者で、ポルトガル・ナショナル・オリンピック委員会(POC)の専門員と協働で、東ティモール・スポーツ連盟スタッフに対しての合同ワークショップを開催し、東ティモール・ナショナル・オリンピック委員会の設立に役買いました。

派遣日程：2003年4月18日～6月02日

活動：5月10日「独立記念平和ロードレース、マラソン大会」(ハーフ、

10キロ、3キロ)・5月10日～20日 支援一覧

・「全国競技大会」(マラソン・サッカー・空手・シラット)
・「首都圏競技大会」(バスケットボール・バレーボール・卓球・ケンフー他)
・「ワークショップ」「スポーツ組織の運営法および活動戦略」(IOCと協働)
派遣者：4月18日～6月03日 山口 拓 (スポーツ政策専門員)

5月9日～21日 相原幸太(インターン大学生)

協 力：IDCJ 5名、東ティモール大学 20名、赤十字 10名、他

*東ティモールからのメッセージ

新しい一年間に初めての独立を果たした東ティモール国民は、支援組織の協力を得て一日も早い国家基盤の整備に取り組んでいます。独立から一年を迎えた今日、東ティモールから、いまだ困難にある人々へ平和の喜びを伝えるとともに、幾多の苦難を乗り越えながら国づくりに活動する國民に、復興に向けての活力を獲得する最高の機会となるような大会を開催いたしました。

私達は、平和を取り戻した今もなお、必死にもがきながら国づくりに励んでいます。そして何よりもこれからこの国を支えていく青少年および人材育成が重要だと考えています。そして東ティモールのスポーツのレベルを向上させるとともに、青少年の健全育成にスポーツを通じた活動が重要で効果的です。日本のNGO / Hearts of Goldの支援にお礼を述べると共に、これからも皆様方と共に活動できることを強く希望しています。

Vice-president of Athletics Federation
Afranio X. Amaral (アフランニオ・アマラル)

自立支援 国際ボランティア貯金配分事業

野菜栽培技術移転

スナーダイ・クマエ代表 メアス・トミー

カンボディア、プアク地区の貧困層の住民に野菜栽培技術を移転し、農作物の栽培技術取得をすることにより収入増加につながり、貧困からの脱却と自立への手助けを目的とする。2000年度からの継続事業で、1年目は当地区的気候と土壤に適合する農作物を見極めるために、日本の専門家による技術移転を通じて、数10種の作物（野菜）の実験栽培を行った。2年目は引き続き専門家派遣により、技術移転を行うとともに、地域研修所を建設し、灌漑設備などを整備し、現地の農村に研修を始めた。また、将来の収入を考え、果樹の実験栽培も開始した。3年目は、近隣農家10村の農家において、実験場での研修とともに、巡回研修を行いより多くの貧困層の農民に野菜栽培の研修をし、農業技術の広い波及を目指した。

◆2002年度の活動

このプロジェクトでは、農家の生活を良くするために、先ず農家のそれぞれ保持している農地を100%活用できるようにもって行くことを目標とした。

技術指導以前には、農地活用率は保有の農地の10～30%であった。しかし、巡回技術指導「郵貯派遣専門家から受けた技術（土の作り方、土の改良仕方、苗の作り方、堆肥の作り方、作物の手入れ方法）」により、農民は栽培技術を習得し、それぞれの農地に適切な野菜栽培を始めた。その結果、現在の農地活用率はほぼ100%に達している。農民は栽培することで収入が得られたため、野菜栽培に対する自信を持つようになり、さらなる収入の安定化を図るために、野菜栽培の意欲が高まっている。

また、これまで出稼ぎ生活を補ってきた農家の子供は親代わりに牛や兄弟の面倒を見なければならないことと、お金がなかったために学校に行けなかった子供が多かった。現在、出稼ぎ農家のなかには野菜栽培の収入で生活を補う部分が出てきたので、子供を学校に行かせる状況が少しづつ出てきた。

◆今後の支援

今後は意欲はあるが貧困で野菜栽培を始める資金がない農家に、栽培のための小規模融資（基本的に物品の無利害ローン）を行い、技術移転後の各農家が自ら野菜栽培を行うことにより、収入に結びつく計画経営を進められるよう、農業関係の小規模融資を実施し貧困農家の自立促進を図ることが望ましい。



野菜栽培研修後のきゅうりの収穫

夢は訪れるものではなく、掴み得るもの

HOG会員 久留井 真理

結婚10年を機に始めたジョギング。いつの日にか“大阪国際女子マラソン”を走ることを夢に持ち、岡山で開催される山陽女子ロードで記録を取得。そしてついに待望のエントリー。しかしマラソンを目前に控えた1994年1月4日、交通事故で手足の自由を奪われ車椅子生活になりました。残された命をどれだけ悔やんだことでしょう。でも、“もう一度走りたい！”という強い思いと、夫や娘達、家族、たくさんの友達、そして恵まれた人間関係に支えられ、前向きに生きることが出来ました。

「元気をくれる花だって。」と、仕事先でひまわりをみつけでは、新聞紙にくらんで病室に持ってきててくれた夫、メッセージ入りの娘達の手作りお守り、季節を届ける友人達の手紙や手作り料理、ランパン姿でいつも変わらず接してくれた仲間達…。そして私のことを知った、大阪国際女子マラソンの役員の方が、毎年手紙を添えてフィニッシャータオルをはじめ、大会グッズを送り続けてくださいました。どんなに力になったことでしょう。今年の大会は、エントリーから丁度10回大会。ついに観戦に行くことが出来、10年目の完走！

…（中略）…

退院、間もない頃、君原健二さんの講演をテレビで見てとても感動し、お手紙を書きました。思いもかけなかったお返事が早速届き、否定しつづけて来た“電動車椅子”でのマラソンを決意。君原さんが毎年参加されている、以前私も何度か走った“MIKANマラソン”にエントリー。そして大会当日、スタートする

までは複雑な思いでいっぱいでしたが、スタートすると以前と変わらず無心になれ、沿道や友人の声に励まされゴール！ジョギングシユーズが電動車椅子に変わった瞬間でした。君原さん、ありがとうございました。

この大会のパンフレットに記載されてある“ランナーズエイト”を目にし、君原さんに尋ねると、ハート・オブ・ゴールドの資料を送ってくださいました。これがハートオブゴールドとの出会いです。有森さんの活動は知っていましたが、資料を目にし、そして自分もハンディーを持った今、ひどく共感させされました。

以前から障害を持たれた方、ボランティア活動が気になりながら、どうすればいいのか、どのように声をかけていいのか分からず、消極的でした。でも自分が障害者になって、逆に“障害者側も健常者に、どのように声をかけていいのか分からない”ということを知りました。お互いに「どうしよう？」ではなく、同じ人間なんだから、困っている時は普通に手助けを、出会えば普通に声をかければいいんだ、ということのようです。

2001年10月、ジョギングを通じて知り合った友人達の支えで、画廊を借りて原画展を開催。友人達、多くのメディアのご協力で、たくさんの方が来てくださり、夢のような1週間でした。このときハート・オブ・ゴールドのパンフを掲示させていただき、個展でやり替えた古い額や画材屋さんの協力で額を安く提供して頂いたものに、カレンダーを切って入れた額絵、古いカレンダーを安くしたり、と



チャリティーを募ったところ、あっという間に完売。多くのご協力がありました。人の温もりに、たくさん触れた原画展でした。これらの売り上げをカンボディア障害者の方たちの何かの役に立てるならと、ハート・オブ・ゴールドに送らせて頂きました。助けたり、助けられたり、殺伐とした世の中で、疑い深くなっていた“人のやさしさ”、私はハンディーを持つことによって再認識させられました。受傷して来年で10年目になりますが、どれだけの人に助けられたことでしょう。感謝の思いでいっぱいです。

私も、“やさしさ”を大切に生きて行きたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いします。

先日、有森さんが近くに来られ、お会いすることが出来ました。「夢は訪れるものではなく、掴み得るもの。」印象的な言葉でした。

東日本支部便り

東日本支部リーダー 志澤 公一

有森代表を交えて意見交換会に参加しましょう！

来る8月2日（土）、有森裕子代表を交えて、会員同士の意見交換会を開催致します。日頃からのHOGに対する思いや考え、提言などお話ください。直接会員の皆様から有森代表に伝えて頂き、可能な限り今後の活動の中に反映させていくための企画です。

東日本での開催は始めてです。皆様ご参加ください。
[開催場所]

東京都墨田区本所4-19-3アサイビル5F
(株) ウィズ・コーポレーション事務所内
TEL: 03-5819-4838

[アクセス]

都営浅草線「本所吾妻橋駅」から徒歩12分

三つ目通りと春日通りの交差点、ファミリーマートの向かい

[開会時間] 14:00から16:00まで（予定）

[参加料] 実費（飲食費）

参加希望の会員各位は

【住所】・【氏名】・【生年月日】・【職業】・【電話番号】を明記の上、下記HOG東日本支部・志澤宛に、ハガキで申し込んで下さい。（7月20日（日）必着）

〒253-0084 神奈川県茅ヶ崎市円蔵2058-19

HOG東日本支部 志澤方宛 (0467-57-4530)

参加者が多い場合は、場所の変更もあります。追って東日本支部から出席者には詳細をお知らせします。

西日本支部便り

西日本支部リーダー 武藤 勝行

誰でも出来る、ボランティア

2001.9.11 NY同時多発テロにより多くの人達が亡くなられた。そこには、救出に向かった多くの消防士達（343名）も帰らぬ人となりました。そして、今年になってわが国でも、大阪市で鉄道事故による、被害者を救出に向かった消防士が、1週間後、大分県別府市の共同住宅の火災で炎に巻かれ、1名の消防士が、そして、記憶に新しい神戸市で発生した民家火災で3名の消防士が殉職しています。今この時も殉職した消防士と現場活動した仲間の消防士達は心も癒されないまま、新たな火災現場に向かっています。消防士の訃報に胸が締め付けられます。

東日本・西日本ボランティアリーダーと共に現役の消防士であり、NY同時多発テロ発生時はNYの消防仲間の応援に行き、多くの市民から「サンキュウ・有難う」の言葉に癒されました。活動を終え消防車が帰る道端で多くの市民がお疲れ様、有難う、サンキュウと書いたプラカードをかざし、疲労困憊した消防士達を癒していた光景が多くテレビ放送されていた事は記憶に新しい事だと思います。

行動も大事ですが、何をしたら良いか判らない、でも何かしなければ、いてもたってもいられない気持がだいじです。言葉によるボランティアは誰にでも出来るのではないか？

ちょっとした何気ない声掛けに、癒され、気持を落ち着かされた経験はないでしょうか？

高齢化社会に進み、明日は我が身と考え日々生活しております、多くの方達に気軽に声掛けしてみては？？



2003年度活動予定

7.20	大阪ドラゴンボート
8.2	会員交流会（東京にて）
10.5	秋田雄勝町チャリティーラン
11.9	西宮国際ハーフマラソン
11.29	アンコールワットウォーキング大会
11.30	第8回アンコールワット国際ハーフマラソン
12.1～2	第3回青少年スポーツ大会

■事務局便り

2003年6月14日（土）東京にて総会が開催され、2002年度事業報告及び決算報告、2003年度事業計画及び予算案が承認されました。また、東ティモールの活動から帰国したばかりの山口さんからの報告や、第8回アンコールワット国際ハーフマラソン、第3回青少年等スポーツ大会などが話し合われました。今年から会員の皆様で、①マラソン実行委員会、②青少年スポーツ大会実行委員会、③千里イベント実行委員会などに参加してくださる方を募集しています。多くの方がたの参加をお待ちしています。事務局までFAX、メール、はがき等でお申し出ください。

多くの会員さんから総会の返信はがきをいただきありがとうございました。励ましの言葉が書き添えられており、皆様方のお力を感じました。

質問には、順次お答えをしていきたいと思います。これからも、一層のご支援をお願いいたします。

—お願い—

昨年度の会員は個人会員397、法人会員11でした。現在2003年度の会費納入をお願いしております。HOGの活動は皆様方のご協力によって支えられておりますので、お知り合いの方にもぜひご紹介ください。振込み用紙を同封しておりますので、新規・継続会費振込み、ご寄附振込みの際お使いください。皆様方からのご寄付は、活動費として大切に使われています。



有森代表 母校で講演

母校である就実高校にて、「チャレンジライフ」と題し講演した。マラソン選手時代から現在のハートオブゴールドでの活動を紹介。久しぶりの母校で尊敬する今は亡きかりや先生との思い出がよみがえり声を詰まらせる場面もあり、熱心に話す姿に生徒たちは真剣な表情で聞き入っていた。講演後、生徒たちは有森先輩のポジティブな生き方に感銘を受け、「何事にもあきらめずにがんばっていきたい。」「ボランティアは特別なことでなくとも、自分にできることをすればいいんだ。」など、ボランティアに対する考えが変わったとの声が多く寄せられた。また、昨年に引き続き母校の牧石小学校にて、5、6年生を対象に国際理解教育の授業の一環として、カンボジアでの経験を子どもたちに話した。

千里国際チャリティラン

写真ボランティア フォトします会 角野 韶炳

一所懸命に走る子ども、並んで走る有森裕子さん。「坊やガングルのよ、ゴールはすぐよ」と励ます声や息づかいが聞こえてきそうな写真です。有森さんの暖かい人柄が溢れ出ている此の一枚に私も暖かい喜びを味わせて頂きました。

—新ボランティアスタッフより—

今年、大学生ボランティアスタッフの奥浦屋と村上です。カンボジアを訪問し、日々の生活の中で、自分にもできることがあると気づき事務局ボランティアとして頑張っています。ハート・ペアレントを主に担当しています。どうぞよろしくお願いします。

■アンコールワット国際ハーフマラソン 2002大会参加者数

1. 2002年度大会参加者数

1,129名(前年1,148名 前年比-19名)

2. 種目別参加者数

	参加（日本人）	前年	前年比
ハーフ男子	144（49）	263	-119
ハーフ女子	40（23）	67	-27
10km 男子	525（14）	433	+92
5km 女子	112（24）	88	+24
ファミリー 4km	263（6）	249	+14
義足ランナー（10km）	29（0）	32	-3
車いすランナー（ハーフ）	16（0）	16	
計	1129（116）	1148	-19

3. 国別参加者数 15カ国

カンボジア958名(前年903名)、日本116名(前年123名)、USA16名、GBR9名、FRA8名、NED4名、AUS·DEN·NZL各3名、GER·NOR·RSA各2名、CHN·ESP·SWE各1名

■青少年スポーツ大会 2002参加者数

	サッカー	バレーボール	バスケットボール	レクリエーション	計
小学生男子	144名	90名	24名	180名	502名
小学生女子	40名	24名	36名	70名	370名
中高生男子	108名	84名	36名		
中高生女子	36名	36名			
計	252名	250名	120名	250名	872名
指導教員	15名	15名	15名	15名	60名
障害者	27名				27名
学校代表者	16名				16名
合計					975名

お待たせしました！

会員 New ポロシャツ登場

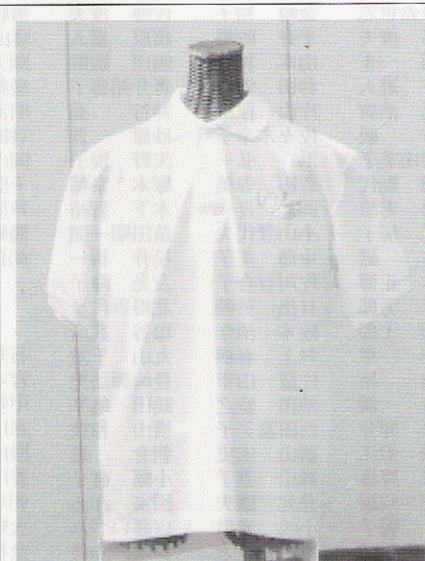
平素よりハート・オブ・ゴールドの活動にご理解とご協力下さり、誠にありがとうございます。さて、会員用のTシャツのご要望にこたえて、以下のような「会員ポロシャツ」が出来上りました。詳細は以下のとおりです。皆様、どうぞご注文ください。

今年の夏は、このポロシャツで、元気に乗り切りましょう！

- 1 商品名：ポロシャツ
- 2 色：白・紺
- 3 サイズ：S・M・L・LL
- 4 価格：2,000円
- 送料：一律 500円

品質のよいものなので、皆様に気に入ってもらえると思っております。

グッズに関するアイデアやご希望など、事務局にどんどんお寄せください !! お待ちしています。



白ポロシャツ・前
胸に金マーク刺繡



紺ポロシャツ・前
胸に金マーク刺繡

お申込みは、下記申込み用紙を郵送で送るか、FAX (086-284-9700) あるいは E-mail (hearts05@hofg.org) にて、事務局まで申し込んでください。商品が着き次第、1週間以内に同封の郵便局振込み用紙で振込み送金してください。

会員用 ポロシャツ 申込書 <今回の〆切は7月20日>

※いずれか○をして下さい

ポロシャツ 白 (S・M・L・LL) を 枚 計 ￥
紺 (S・M・L・LL) を 枚 計 ￥
送料 ￥500 + ポロシャツ ￥ = 合計 ￥

<注文者連絡先>

ご住所

〒

ご名前(ふりがな)

電話番号



【銀行振込】

E-mail : ハート・オブ・オーハ

* 楷書で丁寧にお書きください。 * ご注文ありがとうございました。